

▶卒業証書・学位記授与式を挙行了しました



3月17日(金)、育英館大学 2022 年度卒業証書・学位記授与式を挙行し、34 名(日本人 20 名、留学生 14 名)が卒業しました。

感染症対策により、来賓を最小限にとどめ、短縮して挙行了した式典では、卒業証書・学位記授与、最優秀賞表彰、ゼミナール優秀賞表彰、学長賞表彰などが行われました。

卒業生代表を務めた島谷悠花さんは「大学 2 年の頃から流行した新型コロナウイルスにより、活動が制限されることもありましたが、サークル活動や小学校での学習指導のアルバイト、学生自治会の活動など、様々な人と関わることで多様な考えや価値観を知ることができ、豊かな大学生活を送ることができました。卒業後は困難な課題に直面することがあるかもしれませんが、大学生活で学んだ経験を糧に日々精進し乗り越えていきたい」と決意の言葉が述べられました。

寄付ありがとうございます

多大なるご支援・ご寄贈いただき、深く感謝申し上げます。

(2022 年 10 月 1 日～2023 年 3 月 17 日)

■寄付

- ・株式会社まるでん 様
本館ロビーに LED 機器を設置していただきました。
- ・稚内北星学園同窓会 様
施設整備費として 400,000 円を寄付していただきました。
- ・稚内ネパール友好協会 様
ネパール留学生への支援として卒業生に記念品を贈呈していただきました。

■図書の寄贈

- ・山本建設(株)取締役会長 菊池 工 様

教員を紹介します③



育英館大学
助教
バタライ
クリスナ プラサド

稚内の皆さん、ご無沙汰しています。バタライ クリスナ プラサドです。

2018 年 3 月に稚内北星学園大学(現:育英館大学)を卒業後、室蘭工業大学大学院に進学、IT エンジニアを経て、2022 年 4 月から育英館大学 京都サテライトで教鞭をとることになりました。

大学では、主に情報系の科目 (IoT 入門、プログラミング入門、データベース論、Unix 基礎など) を担当しています。

私は、IoT や知能情報専門分野に関する研究を行っています。特に興味のある分野は、最近の技術を実装し開発出来る新型デバイスの組み込みのほか、スマートコミュニティ、スマートホーム、スマート農業の研究に力を入れています。

育英館大学は日本人学生と留学生との交流が盛んな大学です。国籍や学生・教員を問わず、研究活動や国際交流活動に積極的に参加し、世界の様々な知識と一緒に学びたいと思います。

改めて、今後もよろしくお願いします。

▶社会人対象のプログラムを開講します

本学では、本学授業科目のうち、地域経済の活性化を支える人材を育成するために社会人向けにいくつかの科目を受講料無料で提供します。

なお、開講期間は 2023 年 9 月～2024 年 1 月までの全 15 回で、日中の通常授業を学生とともに学んでいただけます。詳細につきましてはお問合せ下さい。

科 目	担 当
Web プログラミング基礎	佐賀 孝博
UNIX 基礎・実習	浅海 弘保

在籍学生数

(2022 年 5 月 1 日現在)

145 名

(内留学生 52 名)

編集・発行

育英館大学後援会

住所 北海道稚内市若葉台 1 丁目 2290 番地 28

電話番号 0162-32-7511

ホームページ <https://www.ikueikan.ac.jp/>

育英館大学後援会

会報 No.3 2023 年 3 月 31 日発行



(C) JCA IDE

育英館大学(奥山 美佳・稲場 滉人ペア) 全国ベスト 8 日本ミックスダブルスカーリング選手権大会

2 月 21 日(火)から 26 日(日)の期間、稚内市みどりスポーツパークを会場に開催された「第 16 回全農日本ミックスダブルスカーリング選手権大会」において、本学チーム奥山美佳(4 年)・稲場滉人(2021 年度卒)ペアが予選リーグを通過し、決勝トーナメントに進出しました。準々決勝で敗れましたが、世界をまたにける強豪相手に健闘し、全国ベスト 8 に輝きました。

6 チームと総当たりの予選リーグ

予選リーグは同ブロックの 6 チームと総当たりで競技し、決勝リーグ進出をかけて争いました。

21 日(火)の初戦では 10-3 で快勝し、好調な滑り出しでした。

23 日(木)に行われた、藤澤山口(強化委員会推薦)戦では、第 7 エンド終了時、7-6 でリードしていましたが、最終エンドで逆転を許し、惜しくも 7-8 で敗れました。

しかし、その後も好調を維持し、4 勝 2 敗で 3 位、決勝リーグ進出をかけたプレイオフに駒を進めました。

最後まで諦めない粘り

決勝進出の残りの一枠をかけたプレイオフでは、西室 塚本(関東)と対戦。中盤まで苦戦し、第 6 エンド終了時点で 5-7 と劣勢ながらも、第 7 エンドで 2 点、第 8 エンドで 1 点を加え、逆転勝利を決めました。

順々決勝では、松村・谷田(前回準優勝・今大会優勝)に敗れましたが、全国ベスト 8 に輝きました。



(C) JCA IDE

予選 C ブロック試合結果

チーム名 (出場枠)	1	2	3	4	5	6	7	勝敗	順位
1 三浦・徳山 (中部)		X 4-8	X 2-11	X 5-6	X 5-11	X 2-14	X 4-9	0-6	7
2 チーム北村 (西日本)	O 8-4		X 3-11	X 3-9	O 9-5	X 2-11	X 6-7	2-4	4
3 藤澤山口 (強化委員会推薦)	O 11-2	O 11-3		O 11-1	O 8-2	O 9-6	O 8-7	6-0	1
4 横山・森本 (関東)	O 6-5	O 9-3	X 1-11		X 2-8	X 5-12	X 3-10	2-4	6
5 山田・田辺 (東北)	O 11-5	X 5-9	X 2-8	O 8-2		X 3-9	X 3-9	2-4	5
6 吉田・松村 (前回優勝)	O 14-2	O 11-2	X 6-9	O 12-5	O 9-3		O 10-3	5-1	2
7 育英館大学 (北海道)	O 9-4	O 7-6	X 7-8	X 10-3	O 9-3	X 3-10		4-2	3

プレイオフ

西室 塚本 A ブロック 3 位	7-8	育英館大学 C ブロック 3 位
---------------------	-----	---------------------

決勝トーナメント

松村・谷田 B ブロック 1 位	7-3	育英館大学 C ブロック 3 位
---------------------	-----	---------------------

■ 2022 年 8 月から 12 月までの学生の活動や後援会事業などをご紹介します。

学生活動 3 年ぶりに「学園祭」を開催!!



10 月 8 日（土）、「第 1 回育英館大学学園祭」を開催し、多くの方が来場しました。

焼き鳥やベビーカステラなど飲食の販売のほか、ストリートピアノ、お菓子すくい、e スポーツ体験、合成写真を作ろう等、学生が創意工夫をこらした企画が目白押しで、盛況でした。

学生活動 学生が制作した戦争の記憶をたどる映像作品上映会



8 月 20 日（土）、濱森辰雄記念講堂で第 2 回日本最北学生映像作品上映会を開催しました。

樺太をはじめとした戦争の記憶をたどる作品などから市民の皆さんにご覧いただきたい 5 作品を上映しました。また、映像制作に携わった本学学生による、制作秘話も語られました。



2022 年受賞リスト

わが家にソ連人がやってきた

- ・地方の時代映像祭優秀賞
- ・全国自作視聴覚教材コンクール
社会教育部門最優秀賞（文部科学大臣賞）

後援会 夏季講座開催!



杉村 太蔵 氏



藤田 征樹 氏



9 月 10 日（土）、濱森辰雄記念講堂で育英館大学後援会夏季講座 2022 を開催しました。

元衆議院議員の杉村太蔵氏とパラサイクリング競技で活躍する藤田征樹氏をお招きし、後援会会員、学生・教職員、一般市民など 130 人の聴衆を前にご講演いただきました。また、本学教員 2 名による研究成果報告も実施し、日頃の研究内容について発表しました。



高大連携 授業のテーマは「勝つための食事」

11 月 10 日（木）、侘美俊輔教授が高大連携協定の一環で北海道南富良野高等学校を訪問し、特別授業を行いました。

同校にはカヌーやカーリングなどスポーツやアウトドアを複数体験している生徒も多く、同校からの要請があり出張講義が実現しました。生徒たちは運動パフォーマンスを最大限に高め、疲れにくい体づくりためには食事や水分補給などが重要であることなどを学びました。

また、10 月末には同校カーリング部が初の稚内合宿も行っており、高大連携協定締結による相互交流が益々深まっています。

出前講座 e スポーツ

10 月 14 日（金）、本学教員が北海道静内農業高等学校に出向き、1 年生 10 名を対象とした体験型ガイダンスとして e スポーツに関する講義・体験を実施しました。

初めに、e スポーツの現状やスポーツとの違い等について講義をおこない、任天堂 switch を使ってリングフィットアドベンチャーの指導やヨガ、スクワット、リズム系のゲームについても体験しました。

体を動かす授業体験で、生徒の皆さんは楽しそうに講義を受講していました。



その他 災害時に備えて避難所対応などを学ぶ



12 月 5 日（月）、教職員や学生など 24 名が参加して稚内本校で初めての防災訓練を実施しました。

稚内本校は稚内市の指定避難所に指定されていることから、災害が発生した際には大学周辺から被災者が避難し、一定期間滞在することが想定されています。そのため、避難所開設者として求められる対応を学びました。

当日は、稚内市の防災主幹が講師となり、東日本大震災時の現地での被災地での対応や稚内市で想定されている自然災害の説明を受けたほか、段ボールベッドやルームテントの組み立てなどを行いました。

Facebook、Instagram、Youtube のフォローよろしくお願いします!

大学の活動や学生の様子を情報発信しています。

4 月からは学生による動画サークルが立ち上がり、内容がさらにパワーアップします!



Facebook



Instagram



Youtube